



第2回「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会

令和5年6月7日(水) 15:00～17:00

県庁西棟8階中会議室

次第

1. 開会

2. 議事

意見交換

- ・本県のめざす姿について
- ・推進方法について

3. 閉会

出席者

【委員】

職名	氏名
池田 右文	株式会社池田介護研究所代表
石井 重成	青森大学 社会学部准教授
石澤 諒	あおもり創生パートナーズ経営サポート部
加藤 夢人	株式会社寅福プラント代表取締役
佐藤 志穂	株式会社LX DESIGN社長室 CYO
立花 拓也	株式会社ヘプタゴン代表取締役
舘田 あゆみ	東北大学大学院工学研究科 情報知能システム研究センター 特任教授
本田 政邦	NPO法人青森IT活用サポートセンター(AOIT)理事長
森 樹男	弘前大学副理事(社会連携担当)人文社会学部 教授
森本 登志男	キャリアシフト株式会社代表取締役
山内 和彦	株式会社スプラウトジャパン代表取締役社長
蕨 加奈子	合同会社浜と山と代表

○基本的な考え(青森県はDXでもっとおもしろくなる)

○はじめに(趣旨・目的、位置づけ、期間、構成)

1 現状、課題、ニーズ(国や県、市町村の動向等)

2 めざす姿(「産業・しごと」、「暮らし・まち」、「行政経営」)

3 施策・取組の体系

(「産業・しごと」、「暮らし・まち」、「行政経営」)

4 めざす姿の実現に向けた主な取組(体系別)

5 重点分野・重点化

6 推進体制(推進方法)

7 資料等

新たなしごとや働き方で、産業を未来に紡ぐ。
人と人がつながり、豊かさと安心を築く。

日々わくわくする青森県を目指し、
県民とともにDXを推進します。

～青森県はDXでもっとおもしろくなる～

理念に込めた思い

DXを推進することにより、新たなしごとが生み出され、場所を問わない働き方も定着します。これにより本県の産業はたゆむことなく未来へと紡がれていきます。

いかにDXが進展しようとも、人と人とのつながりは欠かすことができません。デジタル技術を活用しながら、相互に見守り合い、支え合い、助け合うこと。それにより豊かさと安心が築かれていきます。

県民が、「この地に暮らしてよかった」「次はどんな新しいことが待っているのだろう」とわくわくするような社会。そんな「もっとおもしろくなる」青森県をめざしたい、という思いを込めて、県のみならず、県民や事業者、国や市町村など各主体とともにDXを推進していく必要があります。

○ 推進すべき分野について

- ✓ 様々な変革を契機とした新たなビジネスモデルの創出や創業・起業への挑戦を支援するとともに、労働力人口の減少に伴う生産力の低下や多様な働き方への対応の遅れなど様々な課題の解決に向けて、**事業者や労働者の目線**でDXの推進に取り組むことが必要 ⇒ **産業・しごと分野**
- ✓ 県民のニーズを把握するとともに、その実現に向けた生活サービスの提供体制の構築や、必要なつながりを維持できる環境づくり、さらには、デジタル技術を活用するための知識や機会等の格差の解消など、**住民目線でのDXの推進**に取り組むことが必要 ⇒ **暮らし・まち分野**
- ✓ 複雑化・高度化する行政課題の解消に向けて、デジタル技術を活用し、持続可能かつ効率的であり、地域全体として最適化された行政サービスを実現するためのDXを推進し、特に、**産業・しごと分野や暮らし・まち分野のDXを実現するための下支えという視点**で取り組むことが必要 ⇒ **行政経営分野**

産業
・しごと

暮らし
・まち

行政
経営

この3分野を支えるDXの推進

○ 各分野のめざす姿(めざすべき社会像)と取組方針

産業・ しごと 分野

- ビックデータ等の活用や様々な変革により、新たなビジネスモデルや本県ならではの事業が創出されている社会。
- あらゆる産業分野でデジタル技術の活用が進み、生産効率や付加価値がさらに向上し、多様な働き方が実現している社会。

〔注意:以下の記載内容は、文案のイメージであり、素案ではありません。〕

農林水産業のDX	観光業のDX	建設業のDX
稼ぐ農林水産業の確立に向け、デジタル技術を活用したスマート農・林・畜・水産業や省力化・作業軽減化、データに基づいた生産体制の普及拡大に取り組む。	デジタル技術やデータ分析により、観光客のニーズにあった情報発信や県内周遊の利便性の向上に取り組み、観光客の増加、観光客の満足度の向上を図る。	労働人口が減少する中でも、持続的な成長・発展を可能にするために、ICT施工の一層の推進や、デジタル技術による省力化、効率化に取り組む。
商工業のDX	働き方のDX	
デジタル技術の活用による、革新的なビジネスモデルの展開や起業・創業、新分野への参入への支援、業務システムの再構築を通じた経営の効率化を進める。	一人ひとりのライフスタイル・ライフステージに合わせた働き方を選択できるようにするため、企業のテレワーク・リモートワークの普及拡大に取り組む。また、デジタル技術を活用して、県内への転職なきの移住を促進する。	

○具体的な取組については、ロードマップに記載し、定期的に見直すこととする。

○ 各分野のめざす姿(めざすべき社会像)と取組方針

暮らし ・まち 分野

- 県民一人ひとりが、自分に合った生活サービスを受けられるとともに、必要なつながりが保たれ安心して生活できる社会。
- 距離や時間、場所などの制約を受けることなく、誰もが自分らしくいきいきと活躍できる社会。
- 平時だけではなく、災害時においても正確な情報が取得できるなど、安全に暮らせる社会。

〔注意:以下の記載内容は、文案のイメージであり、素案ではありません。〕

医療・福祉のDX	子育てのDX	教育のDX	
デジタル技術の活用して、一人ひとりの状況に応じた医療・福祉サービスの提供や、医療・福祉現場での業務省力化・負担軽減を図るための取組を進める。	デジタル技術を活用して、スムーズな情報の入手や各種手続き、また、相談やコミュニティへの参加など、一人ひとりの状況にあったサービスの提供を進める。	デジタル技術を活用して、児童・生徒の一人ひとりの状況に応じた教育を進める。 また、デジタル技術を活用した、リカレント教育、学び直しを推進する。	
地域交通のDX	防災・防犯のDX	環境のDX	デジタル・デバインド
各地域のニーズにあった新しいデジタル技術を活用して、持続可能かつ、便利で快適な生活の実現に向けて取り組む。	デジタル技術を活用して、緊急時での県民の安全な避難や適切な情報取得、犯罪の未然防止に取り組む。	デジタル技術を活用し、エネルギーの使用状況を“見える化”し、県民の環境意識を高める取組を進める。	場所、年齢、身体的な条件に関わらず、誰もがデジタル技術による様々なサービスを受けることができるための取組を進める。

○具体的な取組については、ロードマップに記載し、定期的に見直すこととする。

○ 各分野のめざす姿(めざすべき社会像)と取組方針

行政 経営 分野

- 行政手続等について、デジタル技術を活用し、効率化することにより、県民生活の利便性向上や県内産業のさらなる振興を進められるような政策分野に集中投資できている自治体。

〔注意:以下の記載内容は、文案のイメージであり、素案ではありません。〕

住民の利便性の向上	データの利活用
デジタル技術を活用して、県民が必要な情報を受け取り、自分にあった行政サービスを簡単に受けることができる環境整備や、短時間・スムーズに行政手続きを行うことができるよう利便性の向上に取り組む。	オープンデータやビッグデータなど公開データを充実させ、データを活用した県民生活の利便性の向上や新しいサービスの創出に寄与に取り組む。
情報セキュリティの強化	自治体業務のDX化
県民が安心して、デジタル技術を活用した様々な行政サービスを利用するための環境整備に取り組む。	デジタル技術を活用した業務効率化により、複雑化・高度化する行政課題の解決に人的資源を投入し、効率的かつ機動的に対応できる執行体制の確立を進める。

○具体的な取組については、ロードマップに記載し、定期的に見直すこととする。

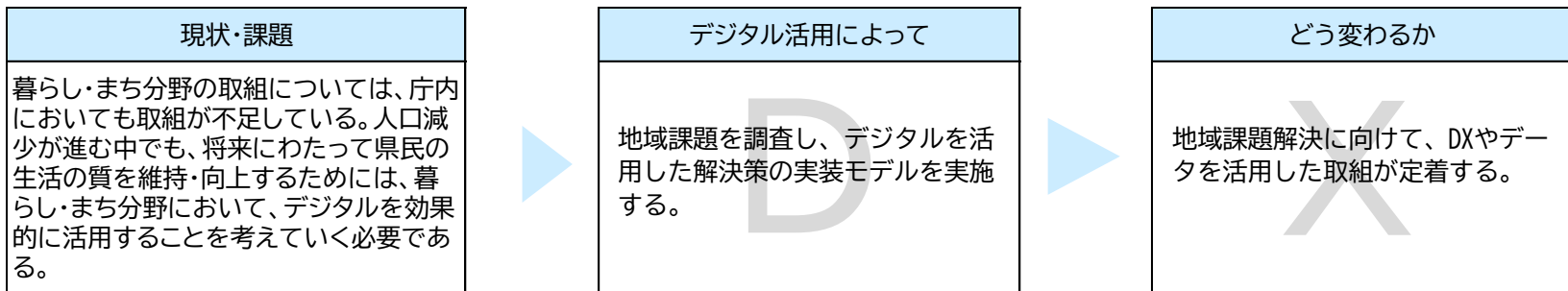
第1回の委員会等での意見(推進方法に係る発言)

- ✓ 「アジャイル」の視点をもち、新しい技術を積極的に取り入れ、失敗を恐れずに挑戦する姿勢
- ✓ DX分野はサイクルが早く、プランを作ってもすぐに時代遅れになるので、めざす姿の表現は、抽象的にした方がよい。
- ✓ 具体的な取組は、ロードマップを作成して、その中に最適な手段を入れていけばよい。
- ✓ プランの推進に力を入れるべきで、ロードマップを作り、短い目標を立てて微調整していく。

⇒ 進展が早いデジタル技術をスピード感をもって「めざす姿」の実現に生かすため、具体的な取組やその工程を示すロードマップを作成し、短いスパンで見直す。めざす姿の実現に向けては、「X(変革)」を意識する。

○ 推進方法(ロードマップのイメージ)

政策分野	暮らし・まち分野	担当課	企画政策部DX推進課
事業名	暮らし・まちのDX創出基盤の構築		
概要	本県における地域の利便性や暮らしの質の向上を目的とする地域社会のデジタル化(DX)促進に向け、その環境整備と地域の課題解決に資する市町村の具体的な取組を支援し、本県全体でのDX対応を推進する。		



取 組		R5	R6	R7	R8	R9
地域社会のデジタル化促進に向けた環境整備	目標	ニーズ調査 ロードマップ作成	ロードマップの随時アップデート	ニーズ再調査		
	実績	ニーズ調査				
デジタル実装支援	目標	フィールドワーク 実装モデル導入試験 現地研修会	フィールドワーク 実装モデル導入試験 現地研修会	フィールドワーク 実装モデル導入試験 現地研修会	フィールドワーク 実装モデル導入試験 現地研修会	
	実績					
効果的に横展開するための環境整備についての検討	目標	検討会の実施	検討とりまとめ	サービスの実施		
	実績					

○ プラン策定のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プラン策定委員会		第1回 ◆ 5/10	第2回 ◆ 6/7 骨子案検討	第3回 7/26 ◆ 素案検討			第4回 ◆ 原案検討 ←パブコム→					
DX推進本部			6/2 ◎ 設立									◆ プラン了承
幹事会		5/22 ◇ 準備会				◇ プラン素案 検討	R 6 事業構築等に向け適宜開催			◇ プラン原案 検討		
庁内			↔ 意見照会 (骨子案)		↔ 意見照会 (素案)							